

アクティブ・ラーニングにおける

11/30

(木)

14:50~

どうやって
反転授業を
作るの？

kibaco
を授業に
使いたい！

参加費無料
・申込不要

反転授業

と

eラーニング教材

の活用

学生を含む
学内外すべての皆さま
がご参加いただけます

平成29年度公立大学法人首都大学東京FDセミナー

総合司会：本間 猛（人文科学研究科 人間科学専攻 教授・FD委員会委員）

概要

アクティブ・ラーニングにおける「反転授業」「eラーニング教材の活用」について取りあげることにより、ICT教材を活用した授業の有効性を学び、本学の更なるアクティブ・ラーニングの推進、授業外学修時間確保の取組拡大を目指します。

「学生の主体的・協調的な学びをもたらす反転授業～山梨大学の事例～」

埴 雅典 氏（山梨大学 教育国際化推進機構 大学教育センター センター長）

eラーニングシステム
kibacoの紹介

藤吉 正明（学術情報基盤センター 准教授）

会場

学内事例発表

eラーニング教材を基にした各授業での実践

首都大学東京
南大沢キャンパス
【大会議室】

東京都八王子市南大沢 1 - 1
（京王相模原線「南大沢」駅 徒歩約5分）

*TV会議システムにより、
日野キャンパス・荒川キャンパスからも参加できます。

①「ブレンド型学習による「情報リテラシー実践」のデザイン

— 学生の関与を促すkibacoの活用例 —

伏木田 稚子（大学教育センター 准教授）

②「kibacoを利用した単位実質化の取り組み」

山登 正文（都市環境学部 分子応用化学コース 准教授）

③「kibacoを用いた反転授業の実践事例と課題」

畠山 久（学術情報基盤センター 助教）

お問い合わせ

首都大学東京 FD委員会

FD委員会事務局 教務課教務企画係 宮本・新谷

TEL : 042-677-2937（南大沢内線 1036）

E-mail : fdwww@tmu.ac.jp

HP : <http://www.comp.tmu.ac.jp/FD/>



首都大学東京

タイムテーブル

- 14 : 50～14 : 55 〔開会挨拶〕山下 英明 副学長（大学教育センター長・FD委員会委員長）
- 14 : 55～15 : 15 〔eラーニングシステムkibacoの紹介〕
藤吉 正明（学術情報基盤センター 准教授）
- 〔学内事例発表〕eラーニング教材を基にした各授業での実践
- 15 : 15～15 : 40 ①「ブレンド型学習による「情報リテラシー実践」のデザイン
－学生の関与を促すkibacoの活用例－」
伏木田 稚子（大学教育センター 准教授）
- 15 : 40～16 : 05 ②「kibacoを利用した単位実質化の取り組み」
山登 正文（都市環境学部 分子応用化学コース 准教授）
- 16 : 05～16 : 20 〔休憩〕
- 16 : 20～16 : 45 ③「kibacoを用いた反転授業の実践事例と課題」
島山 久（学術情報基盤センター 助教）
- 16 : 45～17 : 45 〔基調講演〕
「学生の主体的・協調的な学びをもたらす反転授業～山梨大学の事例～」
埴 雅典 氏（山梨大学 教育国際化推進機構 大学教育センター センター長）
- 17 : 45～17 : 50 〔閉会挨拶〕山下 英明 副学長（大学教育センター長・FD委員会委員長）

総司会：本間 猛（人文科学研究科 人間科学専攻 教授・FD委員会委員）

※テレビ会議システムにより中継：日野キャンパス2号館301号室、荒川キャンパス管理棟2階大会議室

講師プロフィール

埴 雅典（はなわ まさのり）氏

山梨大学 学長補佐

山梨大学 教育国際化推進機構 大学教育センター センター長

山梨大学 大学院 総合研究部工学域 電気電子情報工学系 教授（工学部 電気電子工学科担当）

専門は電気電子工学（通信・ネットワーク工学、計測工学）

1990年埼玉大学工学部電子工学科を卒業後、1995年同大大学院博士課程修了。博士（学術）を取得。1995年山梨大学助手、2002年同助教授、2004年同准教授、2014年同教授。2015年には同大学教育センター長として、主として光ファイバ通信、光信号処理技術の研究に従事するかたわら、2012年より反転授業を核にしたアクティブ・ラーニングの大学教育改革に取り組んでいる。

大学教育改革に関する主な著書は「アクティブラーニング型授業としての反転授業」、最近の研究発表は「山梨大学における4年間にわたる反転授業の総括（2017年、第23回大学教育研究フォーラム）」、その他日本全国の大学において公開講演やセミナー、チュートリアル等を精力的に行っている。